

大型トラック250台に衝突被害軽減ブレーキを装備！

ミリ波レーダーで前方を検知・分析し、衝突の恐れがある場合に警報やブレーキ作動でドライバーに注意を促します。自動ブレーキで速度を低減し、被害の軽減を図ります。衝突速度を下げることにより、被追突車両の死亡事故件数を約80%が軽減できると見込まれています。さらに今年の11月から大型トラックには同ブレーキシステムの装着の義務化決定しましたので、当社ではそれに先立ち早期から装着を進め、既に250台以上の大型トラックに衝突被害軽減ブレーキを装着しています。

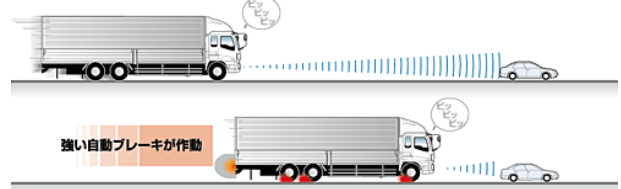
日野自動車 PCS

204台



いすゞ自動車 プリクラッシュシステム

19台



三菱ふそう AMBシステム

14台



①警報音 (衝突の危険性がある場合)



②報知音+弱いブレーキ (回避操作が行われない場合)



③報知音+強いブレーキ (衝突の危険性が高い場合)



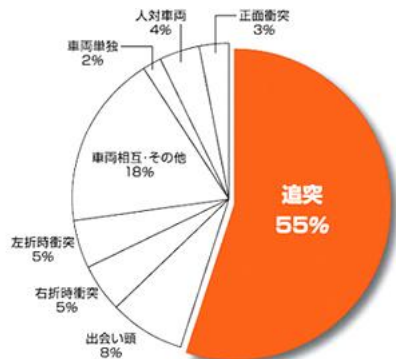
ミリ波レーダー

UDトラックス トラフィックアイブレーキ

16台

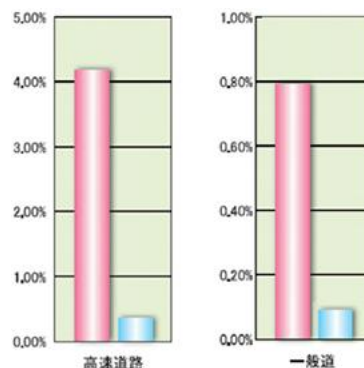


大型トラックの事故の状況



※全国交通事故統計データ (H13～H15) より

追突事故を起こした場合に 死亡事故となる場合



■ 追突率が大型貨物自動車
■ 追突率が普通乗用車

※全国交通事故統計データ (H13～H15) より

過去の事故データでは、大型トラックの事故の半分以上が追突事故で、死亡事故に至る可能性も、乗用車による追突事故に比べて約12倍も高いというデータがあります。

大型トラックの事故の約55%は追突事故であり、これによる死亡事故率は、乗用車に比べ約12倍高いという事故分析結果があります